

# おいで祭り（平国祭）のPR映像・啓蒙映像の制作 ー気多大社 活性化プロジェクトー

学生団体名 気多大社盛り上げ隊（金沢学院大学）

参加学生 高田滉己、坂本峻、久保透、今西陽、知田真湖都、蟹谷玲奈、前田隼人、山本汐音、西本進吾

## 1. 地域活動の概要

「おいで祭り（平国祭）」は、能登路に春を告げる祭りとして古くから地元で親しまれてきた。神馬を先頭にして、神職・みこしなどの一行が、気多大社から七尾市まで総距離約 300km を巡行する。記録上では大永年間からの歴史を持つ。地域の若者世代は伝統文化の興味が薄れてきていることから、改めて、祭りの価値や魅力を再発見する試みを行った。昨年は、ほぼ、全工程に密着し、祭りの様子を映像として蓄積した。そこで、今年度は、PR 映像を制作、祭りの存在を地域にアピールし、訪問する先々の地域にチラシを配布、Facebook での PR を実施する。



図 1 気多大社

## 2. 地域活動の具体的な内容

- (1) 8 月 5 日に、昨年度の参加メンバーと今年の新メンバーで気多大社を訪問し、宮司様より改めて神社の歴史やおいで祭り（平国祭）についてレクチャーを受け、今年度の活動の方針について確認した。
- (2) 8 月から 12 月にかけて、昨年度撮影した膨大な映像データをもとに、プロモーションムービーの制作を実施し、YouTube および Facebook で情報発信した。



図 2 気多大社 松尾宮司の講話

- (3) 1 月 21 日、上記の映像での PR に続き、チラシでの広告展開のスケジュールを立てるべく、気多大社で打ち合わせを実施した。
- (4) 以下は、昨年撮影した映像素材をもとに作成したプロモーションムービーの流れである。



祭り前夜の馬小屋の様子



祭り当日の朝



おいで祭りスタート



巡行の様子



各地域での祈願



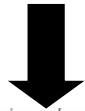
各地域での祈願



桃団子まき



能登生国玉比古神社の様子



気多大社への帰路



気多大社での祈祷

図3 プロモーションムービーの流れ

## (5) プロモーションムービーの Facebook での公開

Facebook にプロモーションムービーをアップロードした。アドレスは以下のとおり。

<https://www.facebook.com/気多大社盛り上げ隊-291125704589546/?ref=bookmarks>



図 4 おいで祭りの紹介および PR 用 Facebook

## (6) チラシ制作

訪問先情報は 2 月中旬に確定するので、それを踏まえ、アクティブフォーラムでチラシのデザイン案を紹介する。チラシは、合計 10,000 枚作成し、約 100 地域に配布予定である。祭り一行の通過予定日時を明記し周知することで祭りへの関心が高まることを期待している。

## 3. 地域活動の成果

本祭りは毎年 3 月中旬に実施される。昨年から現時点までの成果と今後の予定を述べる。

昨年度、祭り期間中に、情報発信用の Facebook 作成し、祭りの様子をリアルタイムで発信していった。閲覧数は祭り期間中日々上昇し、その後も徐々に上昇していった。参考として、図 5 に 2017 年 3 月の祭り期間中のリーチ件数の変化を示す。

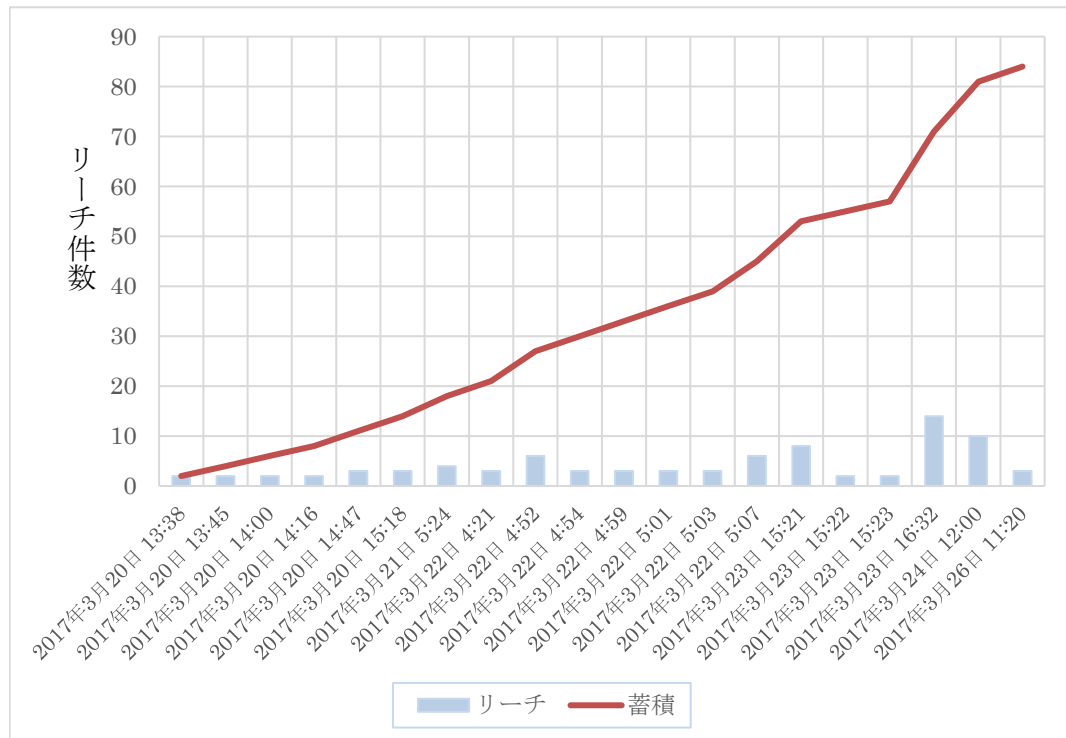


図 5 おいで祭りの Facebook リーチ件数の変化

グラフから分かることは、後半のほうが1日あたりのリーチ件数が上昇している。これは、SNS 内で情報共有の輪が広がっている現象と考えられる。また、我々の活動に期待している旨の書き込み等が寄せられた。2017年3月26日時点で、フォロワーは15名程度であったが、2018年1月20日現在、60名程度にまで増加しており、我々の活動への期待感が伺える。

なお、今年度の祭りは、例年通り3月18日～23日までの間実施される。我々の種まきの成果がどのように表れるか興味深いところである。また、今後のために、昨年とは別のアングルで、撮影を実施する予定である。引き続き情報発信し地域を盛り上げたいと考えている。

#### 4. 学生の感想

本活動に取り組んで、気多大社に、このような伝統行事があることを初めて知った。また、時代の流れとともに継続が難しくなりつつある祭礼行事が、我が国に多数あることに気付いた。その理由は、人口減少や、祭礼行事と雰囲気と時代感覚のズレのようなものが影響していると考えられる。しかし、祭礼行事の本質的な意味を見直し、IT等で情報発信し、支える人々の、熱意と知恵で乗り越えられる課題ではないかと感じた。

#### 5. 活動に対する地域からの評価

昨年に引き続き、今回も若い学生の意見を聞くことができて大変参考になった。引き続き、応援をして頂き魅力を発信してほしい。若い方々のアイデアに期待したい。